

住まいを検討するとき "建物価格だけ"を気にしていませんか？

こんな時代、住宅のプロはこう考えます！

大切なのは「**建築コスト**」より「**生活コスト**」です！

住宅建築をすると、どうしても「**建築コスト**」に思いが集中してしまいます。何といても人生の3大コストの一つの居住費ですから、慎重に考えるべき大問題なのですよね。

でも、実はもっと大切でしっかりと考えないといけないのが、住んでからの「**生活コスト**」なんです。

建築コストってよく聞くけど**生活コスト**って何？

建築コスト

入居までに必要となる土地や
建物にかかる総金額

土地 + 建物 + 諸経費

生活コスト

入居後から始まる住宅ローン
支払いに、電気代・ガス代等の
光熱費を加えた総支払金額

住宅ローン返済額 + 光熱費



ー 家庭への影響は...？

建築コストでよく言われていることは、自分たちの予算に合わせて検討できるコスト。

無理をせず、できる範囲で検討できるから安心して住まいづくりを進められます。予算に合わないと思ったら、もう一度やり直しができますからね！

しかし...

生活コストは、建物が完成してから始まる住宅ローン返済や電気代、ガス代といった、生活すると必ず支払いが必要になるコストで、調整がむずかしいです。最近の電気代高騰や物価高は直接家計に響きますよね...

これなら大丈夫！って決めた住宅ローン返済のほすがいきなり厳しい返済に変わってしまいます。



こんなことにならない為に

家を建てた後にかかる

生活コスト

建てる前に考えてみませんか？

聞いたことありませんか？

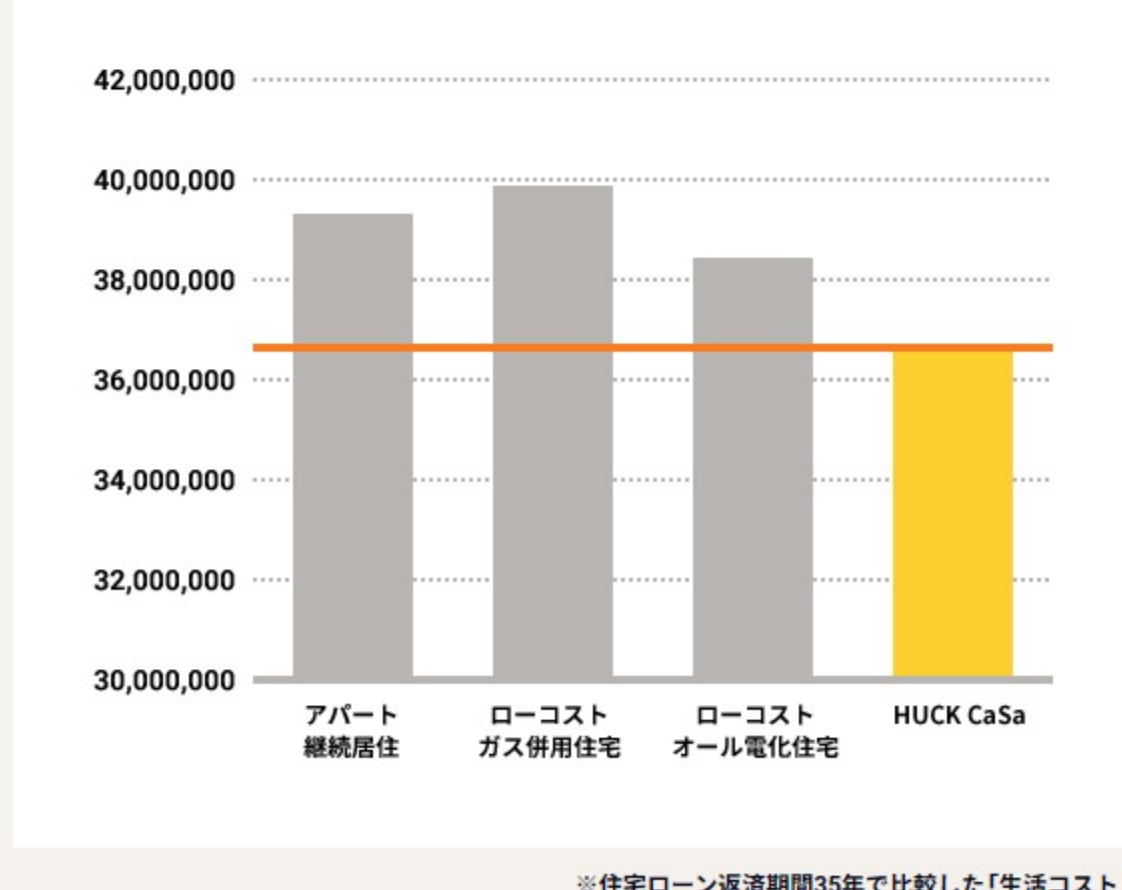
生活コストで比較すると
意外と高い**ローコスト住宅**

HUCKオリジナルの生活コストシミュレーターで計算してみると、現状のアパート生活の継続より生活コストが高くなるのが、ローコストガス併用住宅、下がるのはローコストオール電化住宅でした。

そして最も低かったのはHUCK CaSaでした。

独自のシステムにより達成したその生活コストはローコストガス併用住宅より、35年間で

280万円低く抑えられています。



太陽光発電の 大きな魅力は4つの"ゼロ"

ー 太陽光発電システム
初期投資 **0円**

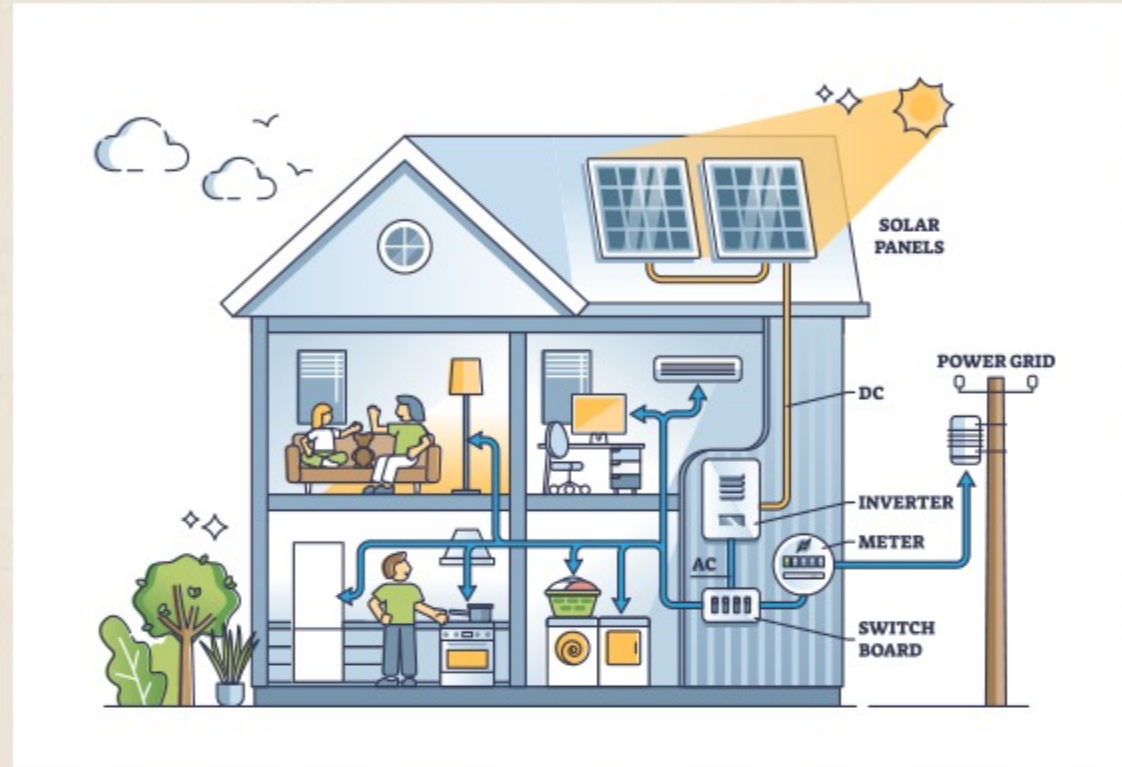
HUCK CaSaは大容量太陽光発電システムを搭載。

屋間に使う電気代は太陽光発電の電力で0円です。

使いきれなかった電力は、FIT制度(余剰電力買取制度)により電力会社が16円/Kwで10年間買い取ってくれます。

このシステムは、太陽光業者とリース契約にて搭載しますので、お客様の初期導入費用は0円になります。

※リース代金は、光熱費削減と余剰電力売電によりカバーできますのでご安心ください。



※蓄電池タイプもご用意しております。ご希望の方は個別にご相談ください。

ー 大容量太陽光発電システムが実現する
光熱費 **0円**

太陽光発電搭載の住まいで、住宅ローン返済の35年間で得られる経済メリットは、光熱費削減額と売電額。リース代金や必要経費を差し引いても518万円のメリットが生まれます。(7.98Kw搭載の場合)

住宅ローン減税13年間の合計金額を加えた経済メリット総額は734万円にもなり、35年間使用する電気代総額を差し引いた経済メリット残額は、230万円になります。



ー 金利上昇
不安 **ゼロ**

昨年末に、日銀が長期金利変動許容幅を0.25%引上げました。

それを受け、フラット35や銀行の固定金利が上昇しています。

変動金利の上昇は当面なさそうですが、奥様にとっては不安材料ではないでしょうか？仮に0.5%アップした場合、支払金利額は292万円もアップします...

HUCK CaSaなら経済メリット残額で

金利上昇による**支払増加額をカバー**できます！

借入金3000万円、返済期間35年間、変動金利				
金利	金利UP→ 0.70%	金利UP→ 0.95%	金利UP→ 1.20%	金利UP→ 1.70%
月々返済額	80,556	83,988	87,510	94,822
支払総額	33,833,403	35,274,935	36,754,301	39,825,335
支払金利	3,833,403	5,274,935	6,754,301	9,825,335
現状からの支払金利UP額	1,441,532	2,929,898	5,991,932	

※あくまで金利の変動が一定であることで試算。

ー 電気代上昇
不安 **ゼロ**

奥様を悩ませている昨今の光熱費値上。日用品の価格高騰と共に、頭の痛い問題ですね。

でもHUCK CaSaでは**日中は自宅の太陽光で発電した電力を使うので**値上げの影響が少なく、さらに経済メリット残額もあるから電気代高騰の不安も解消できます！